

# 調査レポート

## 令和2年度 福井県賃金実態調査

### ～第1回 福井県実在勤労者賃金（月額）～

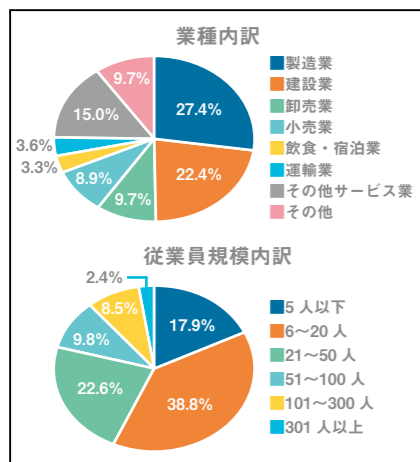
表2 年齢間比較（25歳～30歳=100） (単位：%)

年齢層	大学・大学院卒					短大・専門学校卒					高校卒				
	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他
24歳以下	92.9	90.4	89.7	92.8	98.0	89.3	79.3	90.1	88.2	91.9	86.9	92.5	87.8	85.7	91.1
25歳～30歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
31歳～35歳	116.4	105.7	118.8	114.3	119.6	113.6	104.7	112.4	116.4	108.7	112.0	127.6	111.9	112.8	110.1
36歳～40歳	134.7	123.2	137.7	135.0	134.0	125.5	113.4	132.7	126.3	121.8	121.8	128.9	127.3	121.9	117.0
41歳～45歳	145.7	131.0	152.6	145.2	141.6	131.9	120.9	147.3	138.8	120.0	130.8	145.0	140.4	132.3	120.7
46歳～50歳	164.5	170.7	173.5	160.6	155.4	145.9	136.2	155.6	152.1	133.1	135.1	152.4	148.1	135.0	126.3
51歳～55歳	178.3	178.9	180.4	173.8	182.3	144.7	141.4	176.2	148.0	127.6	140.5	170.7	147.9	142.0	135.4
56歳～60歳	178.6	191.3	182.8	170.8	178.5	150.7	161.6	171.3	152.9	144.0	137.7	167.7	154.4	134.7	131.2

表3 学歴・勤続年数・採用形態別平均賃金 (単位：円)

勤続年数	大学・大学院卒		短大・専門学校卒		高校卒	
	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者
5年以下	218,711	270,657	187,830	214,189	183,308	221,290
6年～10年	261,726	302,030	233,014	247,324	208,926	246,142
11年～15年	305,702	337,851	260,397	268,680	239,578	268,291
16年～20年	345,951	371,680	295,832	294,078	282,544	282,762
21年～25年	402,445	360,529	319,825	315,724	296,590	309,069
26年～30年	461,464	380,691	349,130	329,877	320,401	327,983
31年～35年	459,558	430,751	394,045	332,265	358,614	321,140
36年～40年	457,348	424,603	406,382	366,606	369,244	340,927
41年以上	-	-	-	-	345,234	-

※集計対象者がいない項目やサンプル数が少なかったため集計ができなかった項目には「-」を表記



**調査概要**

○期間 令和2年9月1日(火)～10月23日(金)

○方法 調査票の郵送による照会

○対象 福井県下3,000社の民間企業を無作為抽出

○回収率 96.6社(回収率 32.2%)

**回答企業内訳**

中途採用者の即戦力評価を賃金に反映

新規学卒者と中途採用者にかけて賃金を比較したところ、表3の通りとなった。

入社当初は即戦力となり得る中途採用者の賃金が高い傾向にあるが、勤続年数を経る毎にその差は小さくなり、全体平均をみると「大学・大学院卒」「短大・専門学校卒」においては、勤続20年を超えるとほとんどが逆転する。「高校卒」全体では、勤続30年超、職種別では「一般事務・その他」は勤続15年超、それ以外の職種では30年を超えた時点で逆転していた。

**お問合せ**

福井商工会議所  
創業・経営支援課

☎0776-33-8283

詳細の調査結果については、上記までお問い合わせ下さい。

**所定労働時間内給与（月額）**

Ⅱ基本給

十各種手当

役職手当・扶養手当・住宅手当・通勤手当・勤務地手当等

Ⅰ所定労働時間内給与に入らない手当

時間外手当・休日出勤手当・賞与手当等

※通勤手当、住宅手当は、実費支給を行っている場合は所定労働時間内給与には入らない。

表1 学歴・年齢・職種別平均賃金 (単位：円)

学歴	年齢	職種	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他
				全体平均	全体平均	全体平均	全体平均
大学・大学院卒	24歳以下		212,186 (200,323)	213,521	212,397	210,509	214,863
	25歳～30歳		228,295 (221,321)	236,240	236,782	226,854	219,351
	31歳～35歳		265,637 (262,215)	249,650	281,335	259,335	262,356
	36歳～40歳		307,561 (297,250)	291,055	326,082	306,350	293,963
	41歳～45歳		332,524 (330,129)	309,550	361,271	329,285	310,572
	46歳～50歳		375,584 (366,514)	403,218	410,930	364,394	340,814
	51歳～55歳		407,143 (384,520)	422,658	427,213	394,371	399,858
56歳～60歳		407,648 (394,568)	452,003	432,948	387,375	391,530	
短大・専門学校卒	24歳以下		184,321 (181,787)	172,375	190,116	187,080	179,342
	25歳～30歳		206,347 (206,547)	217,407	211,026	212,103	195,078
	31歳～35歳		234,468 (232,534)	227,555	237,282	246,788	212,067
	36歳～40歳		258,914 (256,097)	246,468	280,002	267,902	237,592
	41歳～45歳		272,071 (277,475)	262,781	310,862	294,354	234,024
	46歳～50歳		300,979 (302,612)	296,060	328,378	322,511	259,684
	51歳～55歳		298,496 (296,724)	307,522	371,820	313,972	248,943
56歳～60歳		310,892 (309,057)	351,359	361,460	324,410	280,949	
高校卒	24歳以下		182,909 (182,221)	177,844	190,761	182,410	179,892
	25歳～30歳		210,513 (212,310)	192,200	217,352	212,830	197,524
	31歳～35歳		235,703 (234,801)	245,196	243,204	240,020	217,559
	36歳～40歳		256,432 (258,191)	247,756	276,766	259,484	231,102
	41歳～45歳		275,415 (273,355)	278,610	305,162	281,641	238,433
	46歳～50歳		284,302 (289,693)	292,981	321,864	287,312	249,401
	51歳～55歳		295,704 (295,971)	328,111	321,469	302,251	267,424
56歳～60歳		289,928 (280,026)	322,351	335,555	286,616	259,068	

(カッコ内は平成30年度調査時の数字)

平均賃金は前回よりやや上昇  
職種別は「営業・販売」が高く

令和2年度福井県実在勤労者平均賃金※の調査結果は表1の通りである。全ての学歴間・年齢間において、「営業・販売」の賃金が高い傾向にある。また、前回（平成30年度 調査時よりも、「大学・大学院卒」では全ての

年齢において平均賃金（全体平均）が上昇していた。「短大・専門学校卒」「高校卒」においては、平均賃金（全体平均）が上昇もしくは、前回と同程度となった。

続いて、25歳～30歳を基準とした年齢間の比較結果は表2の通りである。「大学・大学院卒」の賃金上昇率が全体的に高い傾向にあり、最も

上昇率が高かったのは「大学・大学院卒」の「総務・企画広報」であり、191.3%となった。

更に、全国平均値と比較したところ、「大学・大学院卒」ではほとんどの年齢で全国平均値を上回ったものの、「東京」「大阪」等都市部と比べると全ての年齢において県内の賃金が下回った。